

東西条地域センターだより

第70号

令和6年10月25日発行



東西条地域センター 〒739-0007 東広島市西条土与丸 2-3-4 TEL・FAX 082-421-2023

散る芒(すすき)寒くなるのが 目に見ゆる (一茶)

季 語：芒(秋)

現代語訳：すすきが散っていくのを見ると、これから寒くなるのが目に見えるようだ

すすきが枯れていく様子から秋の終わりを悟り、これから寒くなるぞと身構えています
まさにすすきの様子から「目に見える」寒さという視覚からくる体感温度を詠んだ句です

寒暖の差が激しく天候がよめない日々が続いています。行楽行事、イベント等楽しさを
満喫できる季節ですので、くれぐれも体調を崩しませんようお過ごしください。(注釈：ネット)

センター長



《行事のご紹介》

第28回 東西条まつり (会場：東西条地域センター)

11月10日(日) 開催時間：10:00~15:00

皆さまのお越しをお待ちしています



●11月2日(土)3日(日)、「市全体を、学びのキャンパスに」と題して「第34回東広島市生涯学習フェスティバル」が開催されます。場所は東広島芸術文化ホールくららと西条中央公園です。2日は「パリ 2024 パラリンピック競技大会陸上競技女子走り幅跳び7位入賞・中西麻耶さんの講演会」が開催され、小ホールでは「わくわくステージ」の発表会があります。3日は「いつまでも輝く・つながる自分を創り出す」と題して、RIJAG 代表理事・原田武夫さんが講演され、小ホールでは「けんみん文化祭」があり、27団体の演目があります。また市内各地域センターの紹介は“フェスティバルのホームページ”で紹介されています。地域センターと皆さんを結ぶ出会いになっていますので検索してみてください。(センター長)



●東広島市地域センター使用料減免資格登録 申請受付開始



市では、地域づくりを行っている市内の地縁団体などが、地域センターの使用料の減免を受けようとする場合に、あらかじめ使用料減免資格の登録を受けていただいています。《登録証有効期限 令和7年1/1~令和8年3/31》

受付期間 11月5日(火)~15日(金)

●センター主催「大人の色えんぴつ講座」を開催しました。

「色えんぴつ画に集中し自分を見つめ、心豊かな時間を過ごす」というコンセプトのもと、基本の12色だけを使い、図形に陰影をつけた色塗りや色の合わせ方を学びました。学びを応用し、果物や四季の花々の色付けにチャレンジした作品を「東西条まつり」で展示いたします。作品を見て楽しんでください。



《 東西条地域センターの主催講座 募集中！ 》

知っ得！健康体操

指導内容 ①音楽体操 ②レクリエーション

準備物 室内シューズ、飲み物

定 員 40人(先着順)

日 時 11月28日(木)14:00~15:00

講 師 桜が丘保養園

申込締切 11月22日(金)



《9月の講座様子》

航空機エンジンの世界を

のぞいてみよう

11月30日(土)10:00~12:00

【ジェット機のエンジンにはどんな部品が?】

【航空機エンジンの技術、知識・興味?】

講師：株式会社三差製作所広島工場

(東広島市西条吉行東、東西条小学校となり)

☆松葉浩一さん・品質管理グループ課長

《 理科の知識、空の世界は思ったより近い 》

☆開催場所：東西条地域センター

参加費：無料 生涯学習パスポート対象講座

(住所、氏名、電話番号をお知らせください)

申込方法：電話/FAX または地域センター窓口

申込締切：11月22日(金)

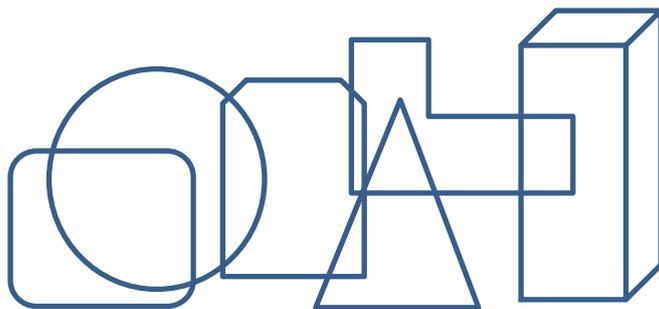
「身近なすうがくのお話」

生活の中に深く関わっている数学に目を向け

新しい発見に出会いましょう!

“多面体ってなあに?”

“五角形の不思議を体験しよう”



日時：12月14日(土)10:00~12:00

講師：今岡光範先生(広島大学名誉教授)

申込み先：東西条地域センター(東広島市西条土与丸2-3-4 ☎・Fax 421-2023)

《 地域センター長のつぶやき 》

①東広島市では「市民一人 1学習 1スポーツ 1ボランティア」をスローガンに生涯学習を推進し、市全体を学びのキャンパスにすることを目指しています。皆さんが参加する事で生き生きと人生を送り、生きがいや生きる喜びにも繋がるように願っています。また現役の労働人口は減少の一途をたどり、人生百年時代を迎えた現在、80歳まで現役で活躍することが必要な時代が間もなく到来しています。急速に社会が変化している今、学び直しや技術の向上・新しい知識や先端技術の習得が必要です。

とりわけデジタル化によって新たに生じる業務や職種に順応するには、就業者自身も新たな技術の習得が求められる。現在はそんな高度な社会になった、変化への適応力が問われるなあ〜と痛感します。

②とても良いニュースが飛び込んできました。今年のノーベル平和賞が、広島・長崎の被爆者らでつくる日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に決まった。結成から68年での受賞となった。両都市の被爆者は原子野から立ち上がり、放射線被爆の後遺症を抱えながら「核なき世界」の実現を訴えてきた。「核兵器が二度と使かわれてはならないと、証言をしてきた」と評価した。「人類は私たちの犠牲と苦難を繰り返してはなりません」と宣言し、国連をはじめ国内外で草の根の証言活動を粘り強く続けてきた。核の恐ろしさを世界に続けていく、昨今の世界情勢のもと、こうした活動は重要性を増しています。(10/12 新聞記事より) 広島育ち・被爆2世代の私たちの使命は重要だ!



《水曜日の講座案内板》

ところで今年は、中央図書館開館30周年ということで、公民館等類似施設の一員としてお祝い申し上げます。11月3日は文化の日に、それに合わせて図書館も多くのイベントを催され、また当東西条地域センターも11月10日「東西条まつり」を開催します。